

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1272201193		
法人名	社会福祉法人 敬愛会		
事業所名	グループホーム ハートかしわ		
所在地	千葉県柏市高田1032番地1		
自己評価作成日	平成28年2月28日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成28年3月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者一人ひとりが心豊かに過ごせるよう支援している。外出や個別レクを多く心掛け、創作レクにて作ったお菓子などを施設内やご家族様におすそ分けしたり、ボランティアを通してデイサービスとの連携を図っている。施設内の他事業所の協力を得ながら常に開かれたグループホームを目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームハートかしわ」は静かな住宅地にあり、特別養護老人ホーム・通所介護施設が併設されている。日頃から併設施設とは行き来が行われており、レクリエーション参加や合同行事にて交流を図っている。また、施設では4大行事を設定し、開催時には地域住民や家族を招待し、外部との交流を促進している。月に1回「ハートフル御膳」と言う特別食の提供を行っており、季節感や食に対する楽しさを提供している。その他にも地域のサロンやグループホーム連絡会の行事等に参加しており、同年代の交流を通じて、入居者の生活の活性化に繋げている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域社会に根ざした施設として地域と共生する、入居者が安心できる生活・生命を最大原に保障する、敬愛を持って接遇する、ニーズに即応するを主眼とした法人の理念を掲げていると共に毎年 事業所の目標を職員全員で考案している。	「望まれる施設」と言う法人理念・「主体性の尊重・家族の一員として生活する」を主眼とした施設理念を掲げている。また、年度毎に職員間で話し合い、目標を設定している。理念・方針・目標は年度初めの研修に取り入れ、職員への周知を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設全体で地域住民を交えたイベントがある	地域住民とは挨拶・声掛けを交わす関係を築いていると共に、地域行事への参加や施設行事への招待等を通じて、交流を図っている。また、中学生の職場体験実習生の受け入れを行い、世代間交流を図る他、地域のサロンやグループホーム連絡会の行事に参加しており、同年代との交流機会も設けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	疑問・質問については説明している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議でいただいた意見を基に再検討しミーティングなどで話し合っている。	運営推進会議は年3回開催しており、地域包括支援センター職員・民生委員・家族等が出席している。会議では、施設の活動報告や意見・情報交換を行っており、施設の理解促進及びサービスの質の向上に繋げている。	運営推進会議の意義を家族に周知し、理解促進を図ると共に、開催回数の見直しを行い、より効果的な運営推進会議開催に向けた工夫を期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	柏市グループ連絡会に加入しており連絡会を通じて市に意見や要望を提出している。また市に対して業務全般における相談や連絡を随時行ない、連携を図っている。	日頃から市に対して報告や相談を行い、随時連携を図っている。また、市のグループホーム連絡会に参加しており、会議を通じて市や同業者との意見・情報交換を行っている。	

【千葉県】グループホームハートかしわ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について具体的に取り決めをしている。玄関は自動で施錠されるようになっていたが開錠方法も説明しており、自由に入力できる。	市が開催する身体拘束排除及び権利擁護の研修に参加しており、職員へ意義の周知を図っている。また、高齢者虐待防止・身体拘束排除に関する施設方針を掲げており、適切な支援の実施に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修参加に努めていると共に併設施設での虐待について学んだり防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等で学ぶ機会はあるが、該当する入居者がおらず支援は行っていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前の事前面接での説明及び契約時の重要事項説明書により十分に行なっている。退去時も、御本人・御家族が納得されるまで話し合う。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の面会時や電話連絡時にご意見・ご要望を確認している。頂いたご意見・ご要望については職員で周知・検討を行い適切な対応に努めている。	家族の面会時・電話連絡時・運営推進会議等を活用して、意見・要望等の確認を行っている。また、定期的にグループホームだより・行事案内等を発行しており、信頼関係の構築に向けた工夫を行っている。挙げた意見・要望等においては、会議・連絡ノート・申し送り等を活用し、周知検討の上、適切な改善を行っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃からのコミュニケーションやミーティング、または6ヶ月に1度の考課査定面接時等で意見を聴く機会がある。	定期的に会議を開催しており、職員からの意見・提案等を確認している。人事考課制度を導入しており、面談を通じて、職員の意向等を確認している。また、管理者が法人の管理職や研修委員会の委員長を務めており、現場の意見を法人幹部に伝える体制が整っている。	

【千葉県】グループホームハートかしわ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	6ヶ月に1度行う考課査定で個々の状況を把握すると共に併設の特養やデイサービスなど、その人にあった人員配置で向上心をもてるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	柏市グループホーム連絡会にて行われている勉強会や外部研修に積極的に参加している。研修参加後は報告書・資料の回覧にて情報の共有を図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	柏市グループホーム連絡会に加入しており、他施設との意見・情報交換を行なっていると共に、勉強会・見学会が開かれ相互の向上に努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談は随時受付けている。利用に至る場合必ず2～3回の面談を行ない、不安や疑問点等への明確な説明を行う。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	同上		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容に沿った解決策(他のサービス利用も含め)を提案し対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の希望や能力に応じて家事等の生活活動を共同で行なっている。職員は裁縫や料理が得意な入居者からアドバイスを受けると共に人生経験や生活の知識を学んでおり共に支え合う関係が築かれている。		

【千葉県】グループホームハートかしわ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	適宜状況報告を行ない必要に応じて協力を頂いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御契約される方の禁止がない限り全ての方の面会に応じている。またご家族の要望に応じ冠婚葬祭への参加支援も行う。	希望に応じて、友人・知人等の来訪を受け付けていると共に、家族との外出・外泊も自由となっており、馴染みの関係継続に配慮している。また、地域のふれあいサロンに参加しており、新たな馴染みの関係構築を支援している。その他にも個別・少人数の外出機会を設けており、馴染みの場での楽しみを支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他の利用者への不満等に対して十分な説明を行ない理解しあえる関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談等は随時受け付け必要に応じて転居先に訪問も行う。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時にご家族・ご本人と面談を行ない、ご家族・ご本人の意向や生活歴等を記録している。また日々の生活において、ご本人・ご家族の意向を確認している。定期的に意向や生活歴等を記録した基本情報表を更新し、常に新しい情報が職員へ周知できるよう努めている。	契約時に本人・家族から意向・身体状況・生活歴等を確認していると共に、医療機関や他事業所から引継ぎを行い、より詳細な情報の把握に努めている。会議や申し送り等を活用し、職員間で常に新しい情報が共有できるよう体制を整えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族から生活歴等情報収集を行ないアセスメントシートに記載している。その内容を折にふれ話題にしている。		

【千葉県】グループホームハートかしわ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	散歩コース・入浴時間・レクリレーション・外出等においてご本人の希望を有する力を把握して支援している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画においては会議にて職員が意見を出し合い計画作成担当者が作成している。また、面談時にて確認し、ご本人・ご家族の意向や生活歴に合わせた介護計画の作成に努めている。作成後は職員の周知を図ると共にご家族説明を行い了承をえている。	入居者もしくは家族を交えた会議を開催しており、意向を反映させた介護計画の作成に取り組んでいる。定期的に目標の達成状況の確認及び評価を行っており、定期または必要時に介護計画の見直しを行っている。独自のケアチェック表を活用しながら入居者の状況及びニーズを把握し、適切な支援が行えるよう工夫している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌や申し送りノートに個別記録し、情報を共有し、日々のケアやケアプランの見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設の特養に来る理美容や訪問歯科を希望に応じて利用したり、デイサービスでのレクリエーションに参加し交流を図っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域で行うふれあいサロンに参加し地域のかたと交流を楽しんでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外にも希望のかかりつけ医への受診が可能になっており、希望により職員が通院を支援している。定期的に歯科往診を実施し口腔ケア・歯科治療がなされていると共に、必要に応じて内科往診を実施しており適切な医療支援をしている。	希望の掛かりつけ医への受診や内科医・歯科医の往診を実施しており、適切な医療受診を支援している。また、必要時には併設施設の看護師に相談やアドバイスを受けており、適切な健康管理を行っている。医療関係における記録を活用し、医師・看護職・介護職が適切な連携を図れるよう努めている。	

【千葉県】グループホームハートかしわ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設の特養の看護職に相談が行える体制が出来ており、適切な健康管理をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはお見舞いに出向き、病院関係者から情報収集を行い、退院後も病院関係者との相談等の連絡を図り関係作りをしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	該当する入居者がおらず支援は行っていない。	重度化・終末期における施設方針を契約時に説明し、同意を得ていると共に、必要時には意向の確認を行っている。必要に応じて、医師・家族等と相談をしながら他サービスや医療機関への切り替えがスムーズに行えるよう協力体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用者の急変や事故発生時のマニュアルがあり、新人職員に指導するが定期的には行っていない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急マニュアルや緊急連絡網を作成している。避難訓練・消防訓練を併設施設と合同で行っている。訓練時は職員・入居者も参加していると共に、夜間を想定した訓練も行っている。また併設施設にて備蓄や緊急持ち出し袋が用意され緊急・災害時への対応している。	スプリンクラー・自動通報器・火災報知器等の消防設備を設置していると共に、年3回の消防避難訓練を実施している。訓練では、併設施設と合同で夜間想定訓練・通報訓練等を行っており、状況に応じた対応方法の確認を行っている。施設には非常用の備蓄品が確保されており、災害時の対策を講じている。	

【千葉県】グループホームハートかしわ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格や生活歴等を把握し、状況によってはミーティングなどで話し合いを行なっている。	身だしなみ・接遇・プライバシー保護等に関するマニュアルが整備されていると共に、会議等で言葉遣いや対応方法を都度確認しており、適切な支援の実践に努めている。また、入居者一人ひとりに合わせた対応を会議等で共有し、その人らしい生活に向けた支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その利用者の好きな事、関心の高い話題等で希望を言いやすいように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課は定めておらずご本人のペース・希望に沿った生活を支援している。またご本人の希望に応じて散歩やレクリエーションに参加してもらっていると共に、ご本人らしい生活を支援している。希望が言い出せない入居者に対しては日々の観察や会話の中から希望を組み取っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	普段はご本人の着たい服を着ている。外出・行事の時には目的や状況等、最低限のアドバイスをしご本人が選べるように支援している。理美容もご本人の希望により受けられるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	併設施設の管理栄養士が作成した献立を基に入居者の希望を取り入れながら行っている。	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備から片付けまで共同で行っている。献立においては、法人の管理栄養士が作成しており、栄養バランスに配慮した食事提供を行っている。月に1回「はーとふる御膳」と言う特別食の日を実施しており、入居者の楽しみとなっている。その他にも定期的に外食行事や特別食を実施しており、食に対する楽しみを支援している。	

【千葉県】グループホームハートかしわ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の管理栄養士が栄養バランスを考えた献立を作成していると共に嗜好や能力に応じた食事提供をしている。また水分の摂取目標を定めており、食事・水分の摂取量を記録している。摂取量が不足している場合は、好みの物や摂取しやすい物に変更し、必要な栄養の確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨きの支援を行う。週1回来る訪問歯科に必要に応じて受診する。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	それぞれの排泄パターンを把握し、入居者に応じた支援を行う。不安や羞恥心への配慮から1対1の対応を行なっている	排泄記録を活用し、個々の排泄パターンを把握しながら、声掛け・トイレ誘導等を行っており、排泄の自立に向けた支援を行っている。必要時には、併設施設の看護師や医師に相談する事が可能となっており、適切な排便コントロールを実施している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給・食事のバランスを心掛け便秘予防をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は毎日実施されており、希望に応じて回数や時間等柔軟に支援している。また、清拭や足浴を実施し入居者の清潔保持に努めている。床暖房も設置されており快適な入浴を支援している。入浴拒否に関しては声掛け等を工夫し無理強いしないよう配慮している。	入居者の希望や体調に応じて、柔軟に対応し、適切な入浴機会の確保を行っていると共に、必要に応じて、清拭・部分浴・シャワー浴を実施しており、入居者の清潔保持に努めている。浴室には床暖房が設置されており、ヒートショックの防止に配慮した設計となっている。	

【千葉県】グループホームハートかしわ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の好みやスケジュールに合わせて休憩や入眠時間を決めている。寝具類もご本人の希望を優先している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理ファイルで各個人の用法・用量・副作用等が分かるようになっている。医師の指示通り支援し、薬の変更等があった場合には申し送り、症状の変化を観察する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	希望や能力に応じて家事等の生活活動を共同で行なっている。毎日 ひなたぼっこやボール投げ等のレクリエーションを実施していると共に編み物等の得意分野を生かした趣味活動を支援している。また併設のレクリエーション活動や合同行事に参加し楽しみを共有している。定期的な行事を企画・実施しご家族や地域住民を招待し、様々な人との交流を図っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に応じ毎日、散歩を行なっている。定期的に外出を企画しており戸外での楽しみを支援している。	日頃から体調・希望・天候に応じて、散歩・買物等を実施しており、戸外に出る機会を設けている。また、敷地内の花壇の草花の手入れも実施しており、気軽に外の空気を楽しめる環境整備がなされている。定期的に外出会・外食会を実施しており、戸外での楽しみを支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる入居者にははしていただき、できない入居者には力量に応じて支援している。金銭管理できない入居者へは立替式を取っておりご家族に同意を得ている。		

【千葉県】グループホームハートかしわ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の要望により支援を行なっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	バリアフリーになっており廊下や共有スペースは広く設計されている。リビングにはテーブルやソファが設置され入居者が自由にくつろげる環境となっている。またエアコン・換気扇・加湿器にて適切な空調管理に努めている。トイレ・浴室は十分な介護スペースを確保していると共に呼び出しブザーを設置し安全に配慮を行なっている。中庭には畑があり入居者が気軽に外の空気を楽しめるよう配慮している。	施設内は十分な介助スペースが確保されており、バリアフリー環境が整備されている。共有スペースには椅子やソファを設置しており、入居者が自由にくつろげるよう配慮している。トイレや浴室には呼び出しブザーを設置しており、安全面に配慮した設備が導入されている。その他にも庭や駐車場等の施設敷地内を活用したアクティビティを実施しており、戸外での楽しみを支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子を置いて一人ひとりが自由に過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の希望により、馴染みのものを持ち込むことが可能であり、居心地よく生活できるよう配慮している。全居室にエアコンや換気扇を設置し適切な空調管理に努めている。全居室に洗面台を設置し利便性に優れてると共に、希望に応じてナースコールを設置し安全面に配慮している。	希望に応じて、馴染みの物を自由に持ち込むことが可能となっており、居心地よく生活できる様配慮している。また、テレビやポータブルトイレの設置も可能となっており、生活歴や身体状況に合わせた居室作りを行っている。希望に応じてナースコールを設置する事ができ、安心して生活できるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの身体機能に応じた介助を行ない、できるだけ自立した生活をしていただいている。また随時、所在確認等を行ない安全に配慮している。		